授業科目(ナンバリング)	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ (DA110) (実践的教育科目)			担当教員	韓　榮芝 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	２単位	開講年次・時期	１年・後期	必修・選択	必須

授業のねらい	アクティブ・ラーニングの類型
地域福祉に関する基本的な考え方、展開、動向、地域福祉における主体と対象、住民の主体形成の概念を理解する。地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と担い手の役割と実情を事前調べやグループワークを通じて学び、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。全ての人の人権と自己決定、及び地域における福祉の問題について考え、地域福祉の現場（特に中核都市である佐世保市など）で直面する課題に主体的・積極的に対処する基礎的な力（ディスカッションや発表を行うことによって課題解決力）を身に着けることを目的とする。	①②③⑧⑨⑩

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	基礎的な地域福祉に関する用語を理解し、地域課題に積極に取り組むことができる。	定期試験 レポート	25% 10%
情報収集、分析力	（１）地域福祉の担い手のそれぞれの役割を整理できる。 （２）国、都道府県、市町村行政や社協など福祉機関の情報を集め、既存資料の整理や新たな情報の獲得ができる。	レポート 定期試験 小テスト	10% 25% 20%
コミュニケーション力	地域福祉の歴史を踏まえ、現代地域社会の課題を把握し、様々な問題所在について考えることができ、地域福祉の現状と課題をテーマに合わせて表現できる。	授業への取組み 事前調べシート	10%
協働･課題解決力			
多様性理解力			

出　　席	受験要件
合　　計	100%

評価基準及び評価手段・方法の補足説明

定期試験の成績を 50%とし筆記試験を行う（択一式、記述問題など、50 点のうち 25 点以上を取得すること)。
小テストは、章ごとに計 4 回で 10 分程度の小テストを行う。
課題レポートは、第 6 回目・12 回目にそれまでの授業内容に関係する課題を問う。
毎回の事前調べシートの欄に記入した内容、コメント・質疑応答も授業への参加意欲と理解度の評価対象とする。
また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオで、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど）は、発覚した場合に減点の対象となる。

授　業　の　概　要

地域福祉の基本的考え方と推進方法を知り、地域福祉に関わる国、都道府県及び市町村の役割、また国と地方自治体・社会福祉法人・社会福祉協議会との関係、住民組織、NPO・ボランティアなどの機関・団体の役割と機能、その現状・課題について学ぶ。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。

教　科　書　・　参　考　書

教科書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集　最新・社会福祉士養成講座　6「地域福祉の理論と包括的支援体制」
参考書：必要に応じ指示する
指定図書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集　最新・社会福祉士養成講座　6「地域福祉の理論と包括的支援体制」中央法規出版

授業外における学修及び学生に期待すること

指定教科書の次回授業予告箇所は必ず事前に一読して授業に臨むこと。
予習をしていれば多少難解でも授業は十分理解できるようになる。
また、講義を受けた後でその箇所を再読すれば、授業と復習とによって理解は確実なものとなる。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	地域福祉の考え方	地域社会とは何か、その概念と理念などを学ぶ。	地域問題とは何か、自分なりに考えてみる。1章1節の内容を読んでまとめておく。
2	地域福祉の動向①	地域社会の変化に伴う生活課題などについて知り得る。事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	1 章 1 節を復習し、1章 2 節の内容を読んでまとめておく。
3	地域福祉の動向②	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズとは何かについて学ぶ。	1 章 2 節を復習し、1 章 3 節の内容を読んでまとめておく。
4	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題	地域福祉の概念と範囲、及びその理念について学ぶ。	1 章 3 節を復習し、4 節の内容を読んでまとめておく。
5	地域福祉の基本的な考え方	戦後のわが国における地域福祉理論の発展と行政組織と民間組織の役割と実践の広がりを学ぶ。	1 章 4 節を復習し、4 章 1、2 節の内容を読んでまとめておく。(1 章の小テストの準備)
6	社会福祉法人の役割と実際	第1章の内容を小テストする。 社会福祉法人の歴史と現状、地域福祉推進に果たす社会福祉法人の今後の役割と課題について学ぶ。	4 章 1、2 節を復習し、4 章 3 節の内容を読んでまとめておく。課題レポートの作成・提出を行う。
7	民生委員・児童委員、保護司	民生委員・児童委員、保護司の歴史と現状、地域福祉推進に果たす民生委員・児童委員、保護司の今後の役割と課題について学ぶ。 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	4 章 3 節を復習し、4 章 4 節の内容を読んでまとめておく。
8	NPO 法人の役割とボランティア活動	NPO 法人やボランティアの歴史と現状、地域福祉推進に果たす NPO 法人とボランティアの今後の役割と課題について学ぶ。	4 章 4 節を復習し、4 章、5 節の内容を読んでまとめておく。
9	地域福祉の推進主体	住民の福祉意識の醸成と主体形成に係る福祉教育の在り方について学ぶ。 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	4 章 5 節を復習し、7 章、1-2 節の内容を読んでまとめておく。(4 章の小テストの準備)
10	福祉計画の意義と種類、策定と運用	4 章の内容を小テストする。 福祉計画と地域福祉計画の意義・目的と展開及び実施内容と策定方法について学ぶ。 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	7 章 1-2 節を復習し、3-4 節の内容を読んでまとめておく。
11	福祉計画のニーズ把握の方法と評価	福祉計画の方法・技術のうち、ニーズの概念や類型を学ぶと計画の評価における「説明責任」「事後評価」について学ぶ。	7 章 3-4 節を復習し、7 章 5 節の内容を呼んでまとめておく。(7 章の小テストの準備)
12	福祉行財政システム①	第 7 章の内容を小テストする。 国、都道府県、市町村の役割と機能、及び相互的関係性を理解し、地方分権の枠組と地方創世の意義について学ぶ。	8 章1－2 節の内容を読んでまとめておく。課題レポートの作成・提出を行う。
13	福祉行財政システム②	福祉行政の組織及び専門職の役割、及び財源について学ぶ。 事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	8 章 1-2 節を復習し、8 章 3-4 節の内容を読んでまとめておく。(8 章の小テストの準備)
14	地域福祉の基本的考え方と実際(住民参加の意義と方法など)	地域共生社会の実現を図るため、地域福祉推進における住民参加の意義と役割及び課題などについて学ぶ。 **(ゲストスピーカー・実務家)** 8 章の内容を小テストする。	外部講師による講義のまとめを行う。
15	フィールドワークとしての地域福祉(ソーシャルワークの実際)	コミュニティーソーシャルワークにおける社会福祉士の役割と機能及び課題について学ぶ。地域生活課題に対する包括的支援体制と実際などを学ぶ。 **(ゲストスピーカー・実務家)**	外部講師による講義のまとめを行う。総復習をし、定期試験に向けて準備をしておく。
16	定期試験		